

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	佐賀工業専門学校
設置者名	学校法人 江楠学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車学科	夜・通信	1890	160	
	エアポートサービス学科	夜・通信	1125	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://kounan-gakuen.jp/sakousen/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	佐賀工業専門学校
設置者名	学校法人 江楠学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人江楠学園（役員）名簿を事務室に備え付け公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前 高等学校校長	令和2年5月28日～ 令和6年5月27日	法人の運営
非常勤	現 株式会社 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和7年3月31日	法人の運営
(備考) 外部理事として計4名配置			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	佐賀工業専門学校
設置者名	学校法人 江楠学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>担当教員により年度末までに作成し、学科内会議で決定。 新学期(4月)に学生に報告、校内で閲覧している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>令和5年度シラバス及び学生便覧を事務室に備え付けている。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>履修規則で定められている方法により適切に評価している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 成績の評定は次のとおりとし、全科目の合計点の平均を算出している。</p> <p>優 (100点～80点) 良 (79点～70点) 可 (69点～60点) 不可 (59点以下)</p> <p>* 分布状況は別表にて校内で閲覧</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	成績分布状況及び佐賀工業専門学校履修規則を事務室に備え付けて公開
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の判定は判定会議で決める。 次の各項に該当するものは、判定会議の対象とし、卒業を認めないこともある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学年末において各科目の成績が60点未満の者。 2. 学年の欠席日数が10日を越える者、又は欠課時数が70時間を越える者。 3. 早退・遅刻が著しい者。 4. 修得単位が所定の単位数に不足する者。 5. 講義及び実習の履修時間が不足する者。 <p>卒業認定に関する方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車整備士・グランドハンドリングスタッフとして専門的な知識と技術を身に付け即戦力として働く準備と心構えが出来ていること。 2. 基礎的な情報処理能力を身に付けていること。 3. 自動車整備士・グランドハンドリングスタッフとして専門的な教養とコミュニケーション力を身に付けていること。 4. 本校の校訓『何処の場に在りてもなくてはならぬ人となれ』を思い行動できること。 5. 自動車整備士・グランドハンドリングスタッフの仕事に誇りと感謝の気持ちを持っていること。 <p>* 校内の履修規則で閲覧</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	佐賀工業専門学校履修規則を事務室に備え付けて公開

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	佐賀工業専門学校
設置者名	学校法人 江楠学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kounan-gakuen.jp/public_information.html
収支計算書又は損益計算書	https://kounan-gakuen.jp/public_information.html
財産目録	https://kounan-gakuen.jp/public_information.html
事業報告書	校内で閲覧
監事による監査報告（書）	https://kounan-gakuen.jp/public_information.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1980 単位時間/単位	720 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1260 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1980 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		49人	0人	4人	2人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 担当教員により年度末までに作成し、学科内会議で決定。 新学期（4月）に学生に報告、校内で閲覧している。
成績評価の基準・方法
（概要） 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。

<p>成績の評定は次のとおりとする。</p> <p>優（100点～80点） 良（79点～70点） 可（69点～60点） 不可（59点以下）</p> <p>*成績分布状況は別表にて校内で閲覧</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級の判定は判定会議で決める。 次の各項に該当するものは、判定会議の対象とし、卒業を認めないこともある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学年末において各科目の成績が60点未満の者。 2. 学年の欠席日数が10日を越える者、又は欠課時数が70時間を越える者。 3. 早退・遅刻が著しい者。 4. 修得単位が所定の単位数に不足する者。 5. 講義及び実習の履修時間が不足する者。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>放課後またはその他の時間に、欠課時間数に相当する補修を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (%)	18人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 県内・県外の自動車販売会社			
(就職指導内容) 就職試験に関する研修会を外部講師を招いて実施する。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 二級ガソリン・二級ジーゼル整備士 国家試験 全員合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 家庭訪問や保護者との連絡を密に行い、卒業することの利点を話し合う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	エアポートサービス 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1980 単位時間/単位	1590 単位時間/単位	0 単位時間/単位	390 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1980 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		20人	0人	2人	6人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>担当教員により年度末までに作成し、学科内会議で決定。 新学期（4月）に学生に報告、校内で閲覧している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、学習の評価は、定期試験・追試験・再試験等で決める。 2、定期試験は、各学年の前期及び後期の中間・期末に実施し、学生全員を対象とする。 3、成績は100点満点とし、60点以上が合格。それに満たないものは不合格とする。 <p style="text-align: center;">成績の評定は次のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">優（100点～80点） 良（79点～70点） 可（69点～60点） 不可（59点以下）</p> <p>* 成績分布状況は別表にて校内で閲覧</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業・進級の判定は判定会議で決める。 次の各項に該当するものは、判定会議の対象とし、卒業を認めないこともある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学年末において各科目の成績が60点未満の者。 2. 学年の欠席日数が10日を越える者、又は欠課時数が70時間を越える者。 3. 早退・遅刻が著しい者。 4. 修得単位が所定の単位数に不足する者。 5. 講義及び実習の履修時間が不足する者。
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>放課後またはその他の時間に、欠課時間数に相当する補修を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	0 人 (%)	13 人 (100%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等) 羽田/成田/福岡他各空港のグランドハンドリング会社			
(就職指導内容) 各グランドハンドリング会社による企業説明会を実施し、本人の適性等を踏まえアドバイスを行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 大型特殊/けん引運転免許/英検 3 級および準 2 級/危険物乙 4 取扱者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 家庭訪問や保護者との連絡を密に行い、卒業することの利点を話し合う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
自動車	100,000 円	660,000 円	234,000 円	教育充実費・施設設備費
エアポート サービス	100,000 円	580,000 円	184,000 円	教育充実費・施設設備費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kounan-gakuen.jp/sakousen/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>基本方針</p> <p>1 自己点検評価の評価項目（①教育理念・目標②学校運営③教育活動④学習成果⑤学生支援⑥教育環境⑦学生募集⑧財務⑨法令等の順守）の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性と併せて信頼度を高める。</p> <p>2 学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校、保護者・地域住民、所轄官庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方々からの理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。</p> <p>実施方法</p> <p>1 自己点検評価結果をHPにアップし広く社会に公表する。</p> <p>2 自己点検評価結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。</p> <p>学校関係者評価で挙げた改善方策</p> <p>1. 校内におけるWEB環境の整備は、事務長を中心として令和5年度中に改善を図る。</p> <p>2. 電子黒板の操作に習熟させるため、教務部長の計画で夏季休業中に普及教育を行う。</p> <p>学校関係者評価委員の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連業界等関係者 5名 ・ 教育に関し知見を有する者 1名 ・ 卒業生 1名 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人佐賀県自動車整備振興会	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	自動車整備業界団体
株式会社スズキ自販佐賀	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	自動車整備業界企業
佐賀トヨタ自動車株式会社	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	自動車整備業界企業
株式会社JALグランドサービス九州	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	航空業界企業
三愛アビエーションサービス株式会社	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	航空業界企業
北陵高等学校	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	教育知見者
佐賀工業専門学校同窓会	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://kounan-gakuen.jp/sakousen/		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://kounan-gakuen.jp/sakousen/>